協議第11号

平成28年度交通まちづくり創生事業の中間報告について

資料1－1

実施状況

	平成28年8月まで	9月	10月	11月	12月	平成29年1月	2月	3月
移動履歴調査・ 情報プラットフォーム構築	調査準備、アプリ及びシステム開発 被験者に対する説明会実施　等	第一回調査	調査準備	第二回調査	調査結果の分析			
	被験者：YKK㈱社員及びその家族　約300名 市職員及びその家族　約100名 石田地区住民　約50名　計約450名				情報プラットフォームの構築			
次世代型交通システムの 実証実験	実験準備、アプリ及びシステム開発 石田地区住民に対する説明会実施 桜井交通株式会社との協議　等			実験実施	実験結果の分析			
				・11/3～11/30　石田地区住民約50名対象 ・運行事業者　桜井交通株式会社 ・実施期間中の利用は、無料				
モビリティハブの設計・設置	モビリティハブの仕様検討 設置場所の選定・決定 土地所有者及び管理者との交渉 警察との協議				モビリティハブの設計等		モビリティハブの設置工事	
					①中央小学校　②郵便局　③市役所　④市民病院　⑤黒部駅（K-TOWN） ※③、④、⑤はサインパネル設置			
					「ちょいのり」自転車システムの検討			
公共交通の官民共同運行検討・ ゾーン制運賃検討	調査企画、 調査対象機関との調整		黒部ワンコインフリーきっぷ事業に関するアンケート調査					
			くろワンきっぷ利用者に対し、ゾーン運賃への評価・要望を調査					
				交通事業者その他事業者に対し、車両や人的資源に関する調査				
				将来の交通SPC構築へ向けた基礎的な情報収集				
	官民連携事業　将来的な共同運行を見据えた路線の計画			「南北循環線」運行社会実験（11/7～）				
利用促進事業	HPリニューアル検討・調整 交通まちづくり創生事業に関する ニュースレター(広報)情報の整理	HPの継続的な改修、機能強化(情報の整理、交通・イベント情報の掲載、お知らせの拡充)						
			広報掲載(10月、12月、3月)、地元マスコミを活用した情報発信・PR					
	地元の交通事業者・タウン情報系事業者・報道機関との共同による情報発信力の向上				公共交通の積極的利用に取り組む優良企業等をインタビュー取材し、情報発信			